

証明書制度の評価基準・インセンティブ に関するディスカッション



2025年8月

○インセンティブについて

- ・取組証明書、インパクト証明書ともに、人材リターン、ブランドリターン、資本市場リターンが、インセンティブとなりうる
- ・ただし、資本市場リターンとしていくためには、
取組証明書の場合：投資家のインパクト投資等のソーシングとして活用してもらうことが重要
インパクト証明書の場合：長期的には、このインパクト証明書があれば簡素なDDで資金拠出できる、といった指標である必要あり
特に、投資家側の意見を反映させていくことが重要

○取組証明書、インパクト証明書の評価基準の考え方

- ・取組証明書
 - －昨年度ガイダンスに記載がある取組：ガイダンスに記載されているロジックモデルをもとに認定
 - －昨年度ガイダンスに記載がない取組：昨年度ガイダンスに記載した農山漁村の課題と取組の関係性の根拠の記載が現実的か
- ・インパクト証明書
 - －上記に加え、評価基準の考え方（IMMプロセスのあり方等）について検討

○インパクト証明書の評価基準、評価方法の詳細

- ・インパクト証明書におけるインパクトやIMMプロセスの評価方法の詳細
 - －アウトカム・インパクトは定量化を求めるべきか
 - －初回時：IMMプロセスを実施できる体制を構築できているか、を評価するのがよいのか
 - －更新時：上記に加え、インパクト指標（KPI）を達成できているのか
（達成できていない場合は、その改善のための施策を立てているか）を評価するのが良いか
- ・アウトプット、アウトカムの具体的な測定方法

○具体的なインパクト証明書発行の手続きについて

- －発行に向けた体制論

【第1回】（インセンティブ、評価基準の考え方）

インパクト証明書、取組証明書のインセンティブを整理。
取組証明書、インパクト証明書の評価基準の考え方を整理。
取組証明書の募集開始に向け、募集・評価・発行体制について、意見聴取。

【第2回】（インパクト証明書の評価基準、評価方法の詳細）

インパクト証明書におけるインパクトやIMMプロセスの評価方法の詳細を検討。

【第3回】（具体的な評価方法）

大企業等による農山漁村現場への人材派遣等の取組促進に係る検討会と同時開催とし、各企業の取組について、ロジックモデルの整理や測定方法について検討。
（非公開）

【第4回】（インパクト証明書の発行体制）

R8年度のインパクト証明書発行開始に向けて、インパクト証明書の募集・評価・発行体制について検討。

本日の検討テーマ

- 1) 証明書の目的、発行対象、インセンティブ
- 2) 両証明書の目的の違いと評価対象、評価基準の違いについて
- 3) 上記の目的を達成するためのインパクト証明書の評価基準の考え方（IMMプロセスのあり方等）について